

# 岩手県感染症週報

平成26年第6週(2月3日～2月9日)

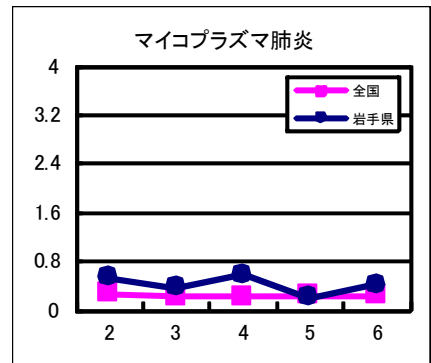
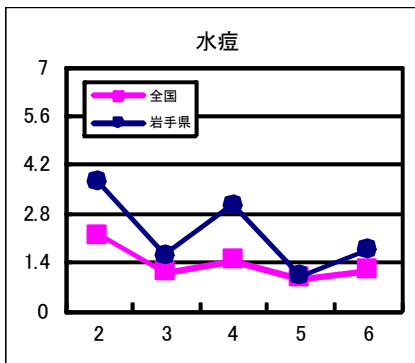
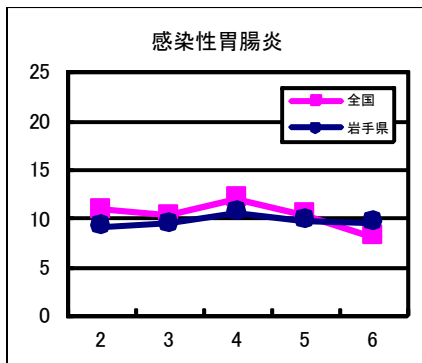
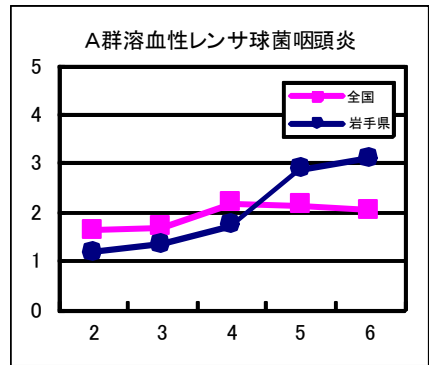
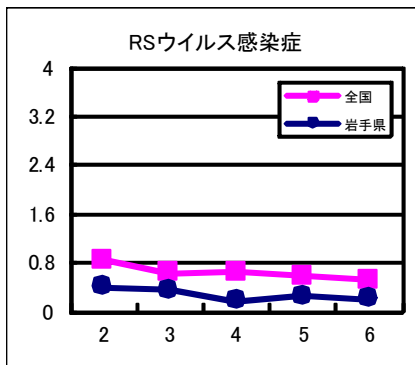
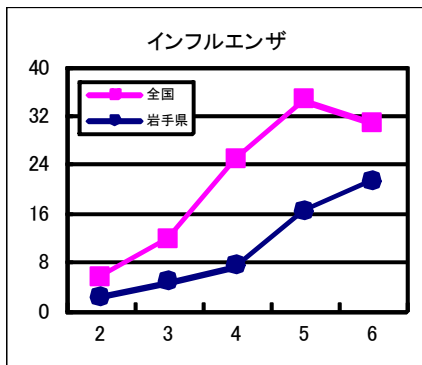
岩手県感染症情報センター

## 第6週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の患者の報告が5例あり、5例が潜在性結核患者です。
- 3 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
  - ・患者発生の報告はありませんでした。
  - ・麻しん・風しんの定期予防接種は、1歳児と小学校入学前の1年間の2回接種となっています。対象者で未接種の方は入学前の接種が勧められます。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
  - ・インフルエンザは、県内の定点あたり患者数は21.16人となり、前週の16.28人よりさらに増加しました。県内10地区のうち、久慈および二戸地区で警報値(定点あたり患者数30人)を超え、残りの8地区で注意報値(同10人)を超えています。これまで報告された患者の年齢層別は、5歳から14歳が40%以上を占めており、小中学生に多くなっています。インフルエンザの感染が疑われる場合には、早めに医療機関を受診するとともに、周囲へ感染を広げないようにマスクの着用等が勧められます。また、なるべく人混みを避ける、帰宅時の手洗いなどで感染を予防することも重要です。
  - ・感染性胃腸炎は、例年に比較して多い状況が続いています。引き続き、石けんと流水による手洗いと、患者の便や吐物の適切な処理などの感染予防対策が重要です。

## 最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		2	3	4	5	6		
インフルエンザ	岩手県	2.22	4.64	7.3	16.28	21.16	↗	☆☆
	全国	5.51	11.78	24.81	34.44	30.72		
RSウイルス感染症	岩手県	0.4	0.35	0.18	0.25	0.2	→	☆
	全国	0.84	0.63	0.64	0.59	0.51		
咽頭結膜熱	岩手県	0.2	0.13	0.23	0.33	0.25	→	☆
	全国	0.52	0.35	0.43	0.43	0.41		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.18	1.35	1.73	2.88	3.1	↗	☆
	全国	1.62	1.69	2.19	2.15	2.04		
感染性胃腸炎	岩手県	9.18	9.55	10.65	9.83	9.6	→	☆
	全国	10.96	10.31	12.09	10.44	8.18		
水痘	岩手県	3.7	1.58	3.03	1	1.75	↗	☆
	全国	2.17	1.1	1.45	0.94	1.15		
手足口病	岩手県	0	0	0	0.03	0	→	
	全国	0.09	0.1	0.13	0.12	0.11		
伝染性紅斑	岩手県	0.23	0.25	0.25	0.28	0.3	→	☆
	全国	0.13	0.13	0.13	0.13	0.08		
突発性発疹	岩手県	0.5	0.45	0.4	0.5	0.33	→	☆
	全国	0.46	0.48	0.44	0.45	0.41		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.03	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.63	0.38	0.35	0.53	0.28	→	☆
	全国	0.31	0.2	0.18	0.24	0.2		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0.07	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.36	0.57	0.29	0.29	0.29	→	☆
	全国	0.85	0.55	0.57	0.59	0.56		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0.05	0.05	0	0	0.05	→	
	全国	0.04	0.02	0.04	0.04	0.04		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.53	0.37	0.58	0.21	0.42	→	☆
	全国	0.27	0.22	0.22	0.23	0.23		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.01	0.02	0.02	0.03		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0.05	0.26	0.58	0.32	0.58	→	☆
	全国	0.08	0.09	0.14	0.12	0.13		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	10	18	19	23	43		
	全国	303	522	816	1016	925		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) が  
2013年10週より対象疾患になりました。

(患者発生数)

	疾病名	(週) 岩手県					全国		
		2	3	4	5	6	累計	6	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 ( ) 内は潜在性結核感染症患者再掲	7 (2)	7 (3)	6 (3)	3 (2)	5 (5)	28 (15)	297	2028
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	1	0	1	0	7
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	1	0	0	1	3	40
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	6
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	1
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	10
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	12	25
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	1
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	0	1
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	1	19
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	10
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	6
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	1	0	0	1	0	2	12	111
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	2	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

※侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症が第14週より、鳥インフルエンザ (H7N9) が第19週より届出対象疾患となりました。

分類	疾病名	(週) 岩手県					全国		
		2	3	4	5	6	累計	累計	
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	12	88
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	1	22
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	1	0	0	0	1	2	57
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	4
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	1	9
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	30
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	16	123
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	27
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	5
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	0	2	0	0	3	30	220
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	5
	梅毒	1	0	0	0	0	1	14	125
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	9
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	5
	風しん	0	0	0	0	0	0	7	50
麻しん	0	0	0	0	0	0	12	83	
指定	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0

今注目の感染症

風しん

風しんは、発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とするウイルス性発疹症です。

2011年にアジアで大規模な風しん流行が発生し、海外で感染を受けて帰国した後に風しんを発症する成人男性と職場での集団発生が散発的に報告されるようになりました。

全国のお患者数は、2010年には87人、2011年には378人、2012年には2,392人、2013年には更に急増し14,357人(暫定数)となりました。2014年は、2月5日までに41例報告されています。

岩手県の発生状況ですが、全数報告となった2008年6年間で15名の報告がありました。そのうち2013年は9例の報告がありました。

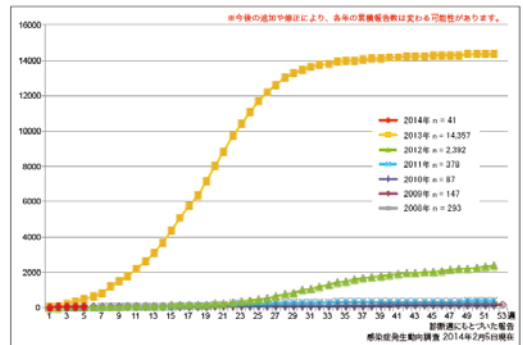
先天性風しん症候群(CRC:congenital rubella syndrome)とは、風しんに感受性のある妊娠20週頃までの妊婦が風しんウイルスに感染し、出世児に白内障、先天性心疾患、難聴等の症状がみられたものです。

風しんの流行があるとCRS発生が増加することが知られています。全国では、1999～2014年までに60例報告があり、そのうち2013年は32例、2014年は5例報告されています。岩手県での発生はありません。

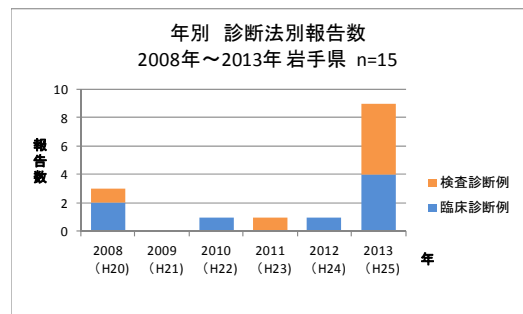
男女ともワクチンを受けてまず風しんの流行を抑制し、女性は感染予防に必要な免疫を妊娠前に獲得しておくことが重要です。

定期予防接種は、1歳児(第1期)と小学入学前1年間(第2期)となっています。

1. 風しん累積報告数の推移 2008～2014年 (第1～5週)  
Cumulative number of rubella cases by week, 2008-2014 (week 1-5)  
(based on diagnosed week as of February 5, 2014).



国立感染症疫学センター



今注目の感染症 (つづき)

インフルエンザ

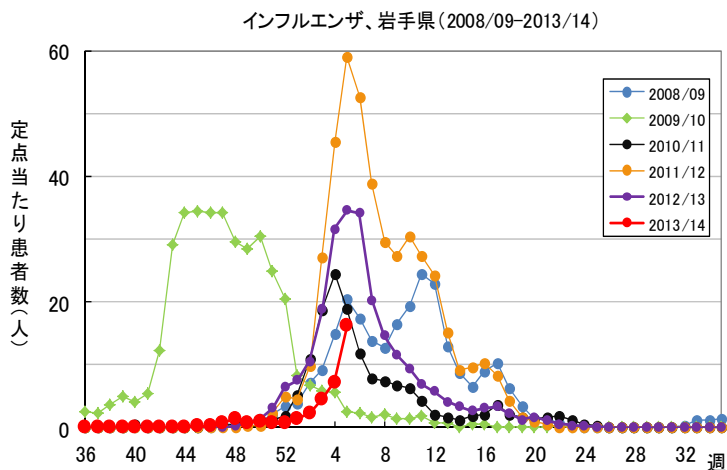
インフルエンザは、第48週で県全体で定点あたり患者数1.36となり、流行の開始の指標である1.0人を超え、インフルエンザの流行シーズンに入りました。その後報告数の少ない状況で推移していましたが、平成26年第5週には16.28人と急増し、注意報値を超えました。第6週は21.67人とさらに増加し本格的な流行シーズンをむかえました。流行の拡大に注意が必要です。

インフルエンザの症状は、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。かかったかなと感じたら、早めに医療機関を受診しましょう。

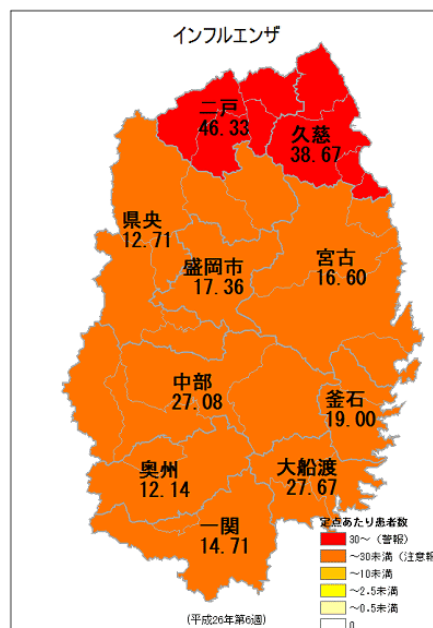
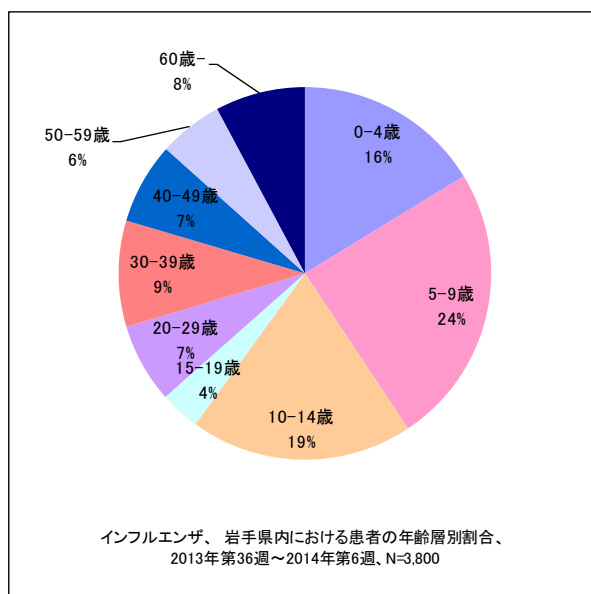
予防には、なるべく人混みを避ける、ワクチン接種、帰宅時の手洗い、咳エチケット（咳やくしゃみを他の人に向けて発しない、咳が出るときはマスクをする、手のひらで咳やくしゃみを受けた時はすぐに手を洗うなど）、十分な休養と栄養をとることなどが重要です。ワクチンは接種後2週間で効果が現れることから、流行拡大前の早めの接種が勧められます。

県環境保健研究センターで実施しているウイルス検査では、A香港型およびA/H1N1(2009)、B型が検出されています。

厚生労働省インフルエンザQ&A <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>



報告週の対応表はこちら→ <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>



今注目の感染症 (つづき)

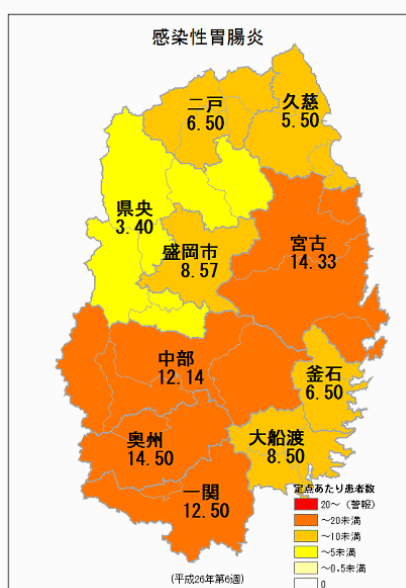
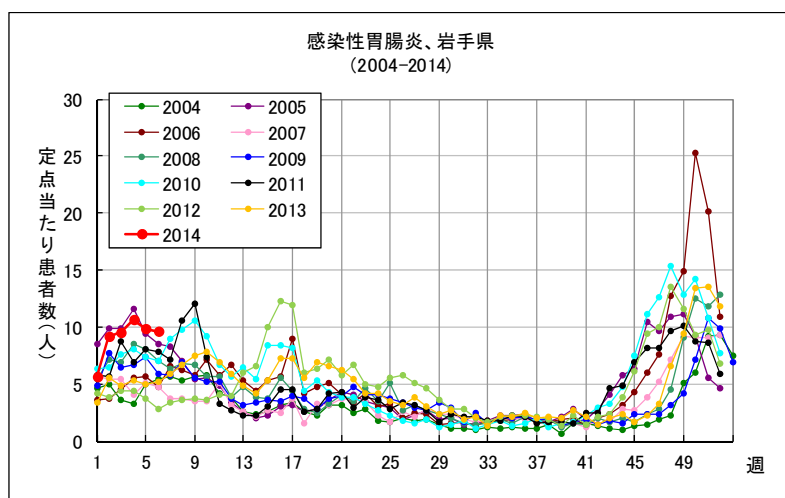
感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年の流行では患者からは、流行の前半はノロウイルスが、後半はロタウイルスが多く検出されています。

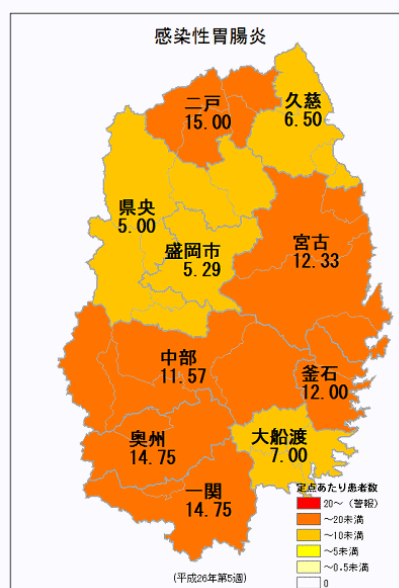
感染性胃腸炎の報告数は、例年、10月頃から増加し12月にピークを迎えますが、今シーズンは今年に入ってからも、例年に比較して多い状況が続いています。また、ノロウイルスによる集団感染事例が、保育園や老人福祉施設や老人福祉施設で14例発生しています。全国ではノロウイルスによる大規模な食中毒事例も発生しています。

ノロウイルスの感染経路は、経口感染が主な感染経路です、感染力が強いため、保育園や幼稚園などの集団生活の場では注意が必要です。予防には、石けんと流水を用いた手洗いと、患者の汚物の適切な処理が重要です。ノロウイルスの汚染の恐れのある二枚貝などの食品は85℃以上で1分間以上の加熱をしましょう。

厚生労働省ノロウイルスに関するQ&A <http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>



第6週



第5週



## 病原体検出情報

- ・この週には病原体検出情報はありません。

## 集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について

- ・遠野市内の障害者支援施設（利用者数85名、職員数30名）  
2月4日（火）から2月10日（月）にかけて41名（利用者35名、職員6名）に症状（嘔吐、下痢等）  
有症者3名（利用者3名）からノロウイルスを確認
- ・平泉町内の保育所（児童数107名、職員数26名）  
1月31日（金）から2月7日（金）にかけて、28名（児童24名、職員4名）に症状（嘔吐、下痢等）  
有症者1名（児童1名）からノロウイルスを確認

○インフルエンザによる学校等の休業措置について（2月7日～2月13日発表分）

- ・岩手県 29件
- ・盛岡市 3件

詳細は、岩手県医療政策室のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/iryo/kenko/Influ/015642.html>

## 医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

## Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

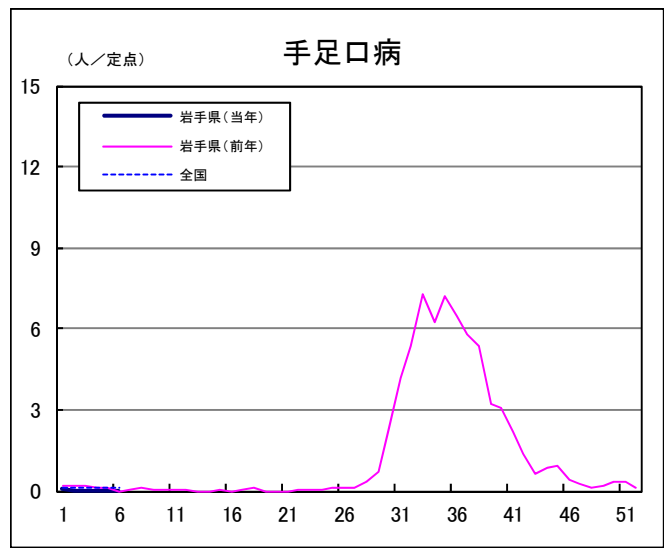
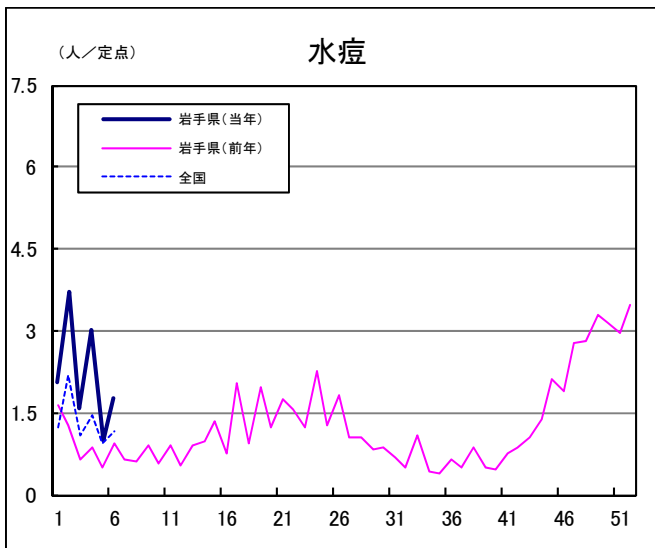
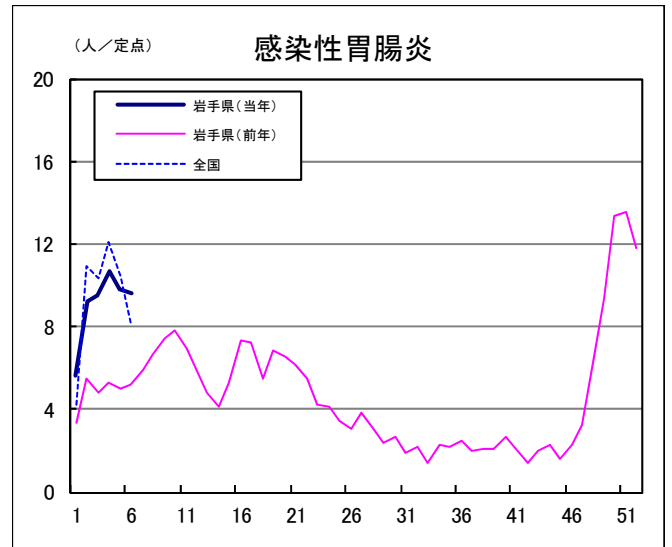
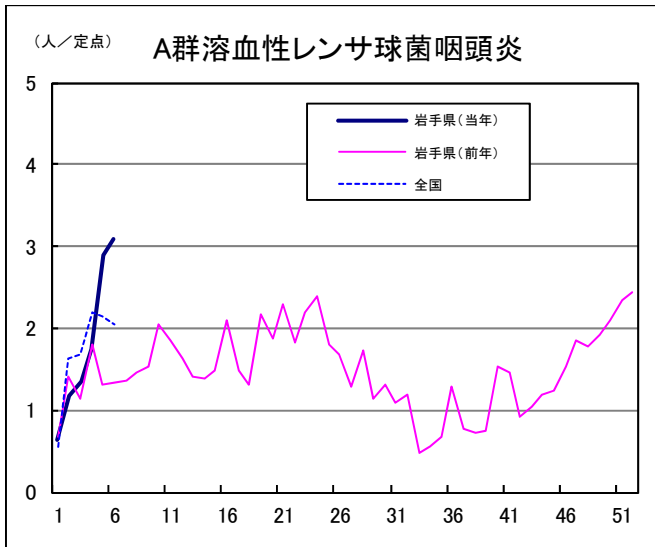
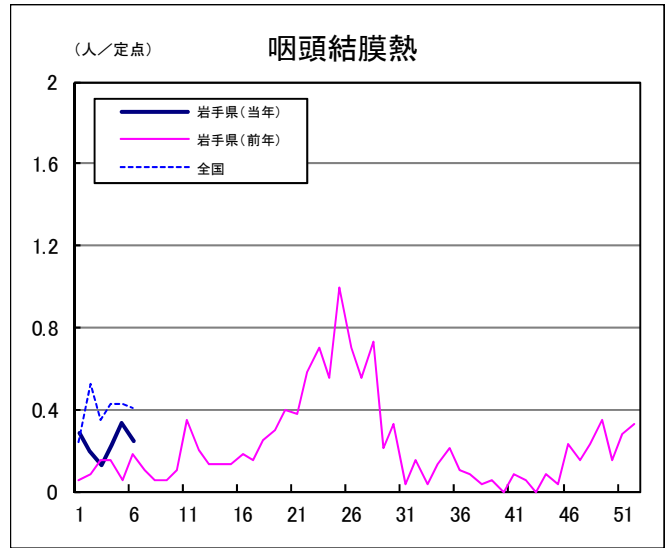
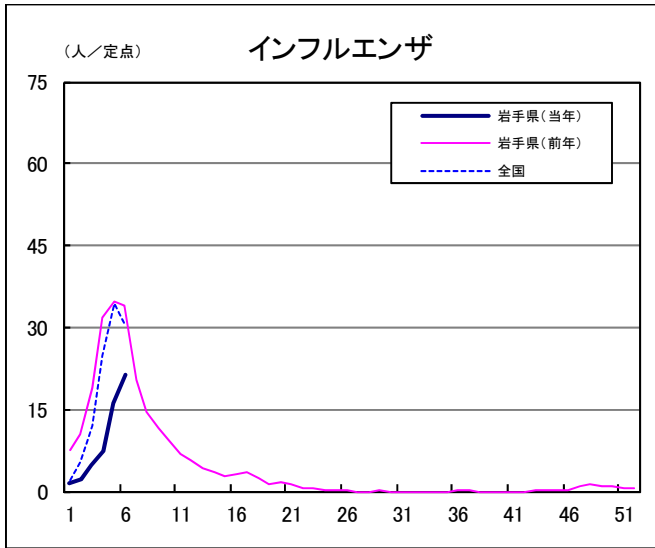
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）

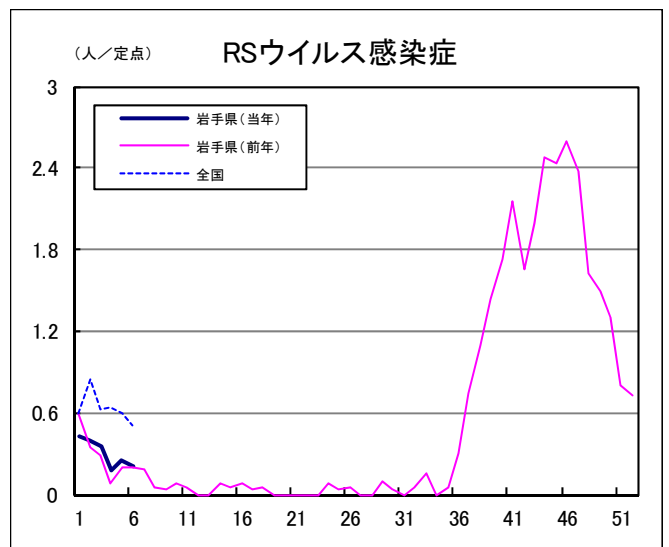
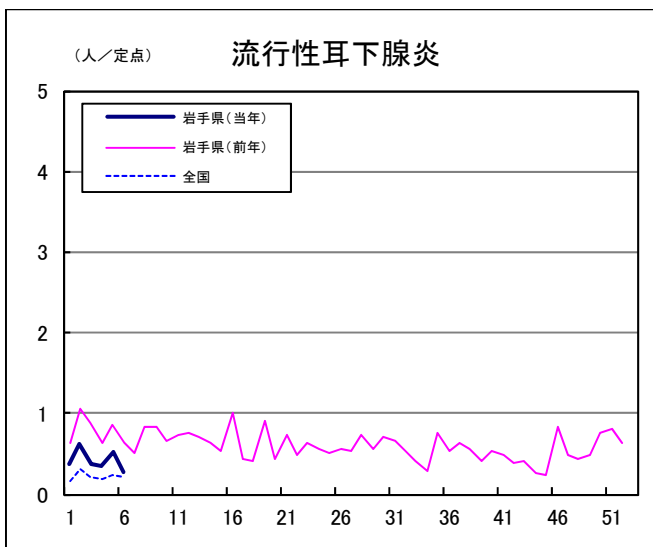
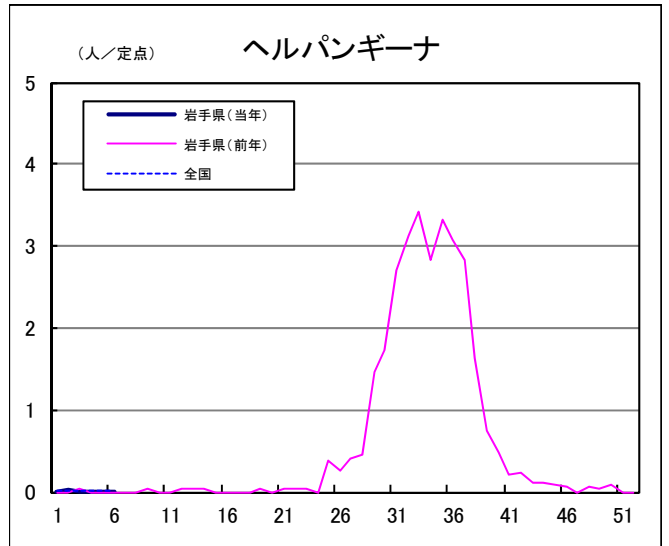
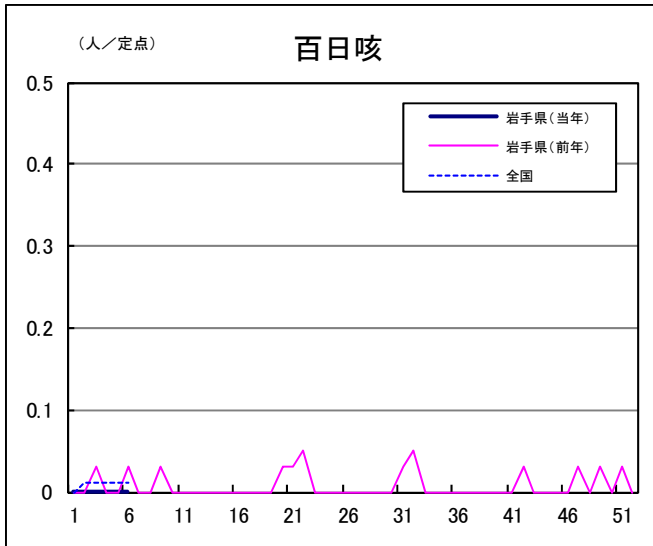
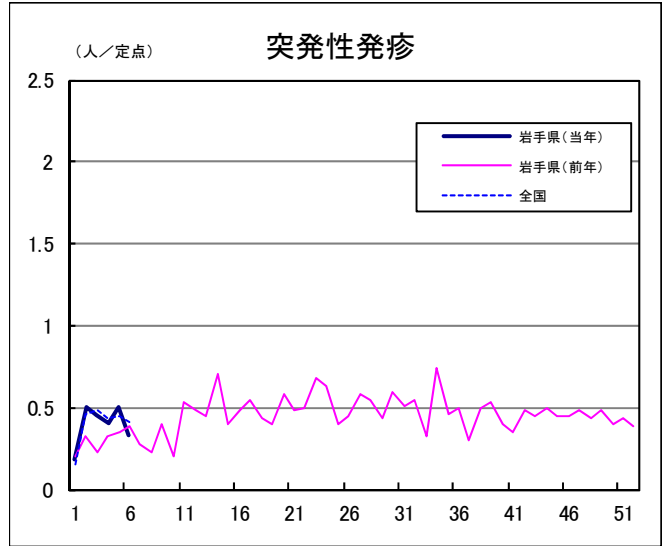
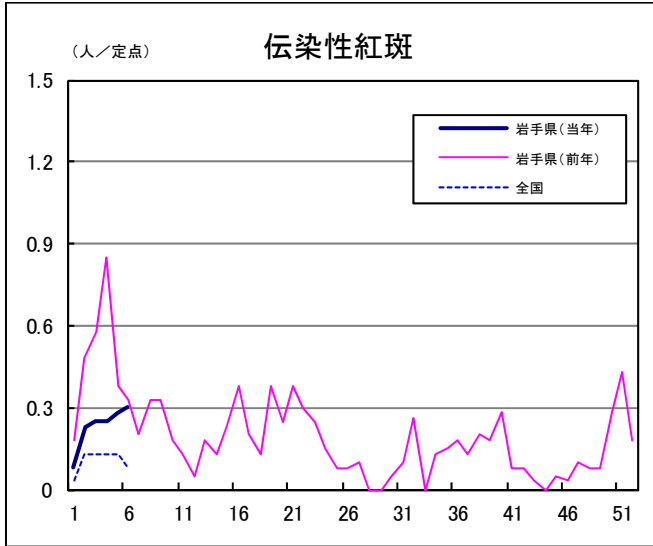
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

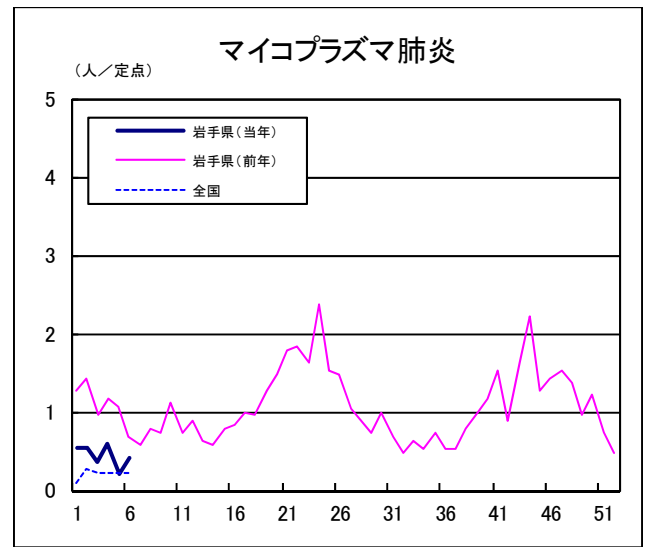
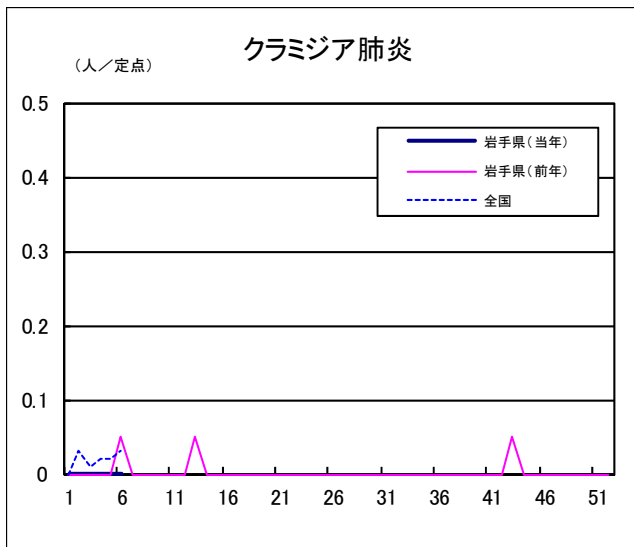
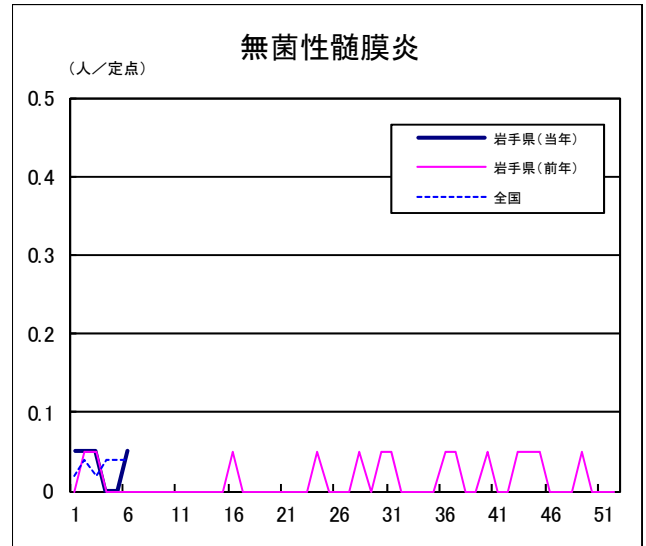
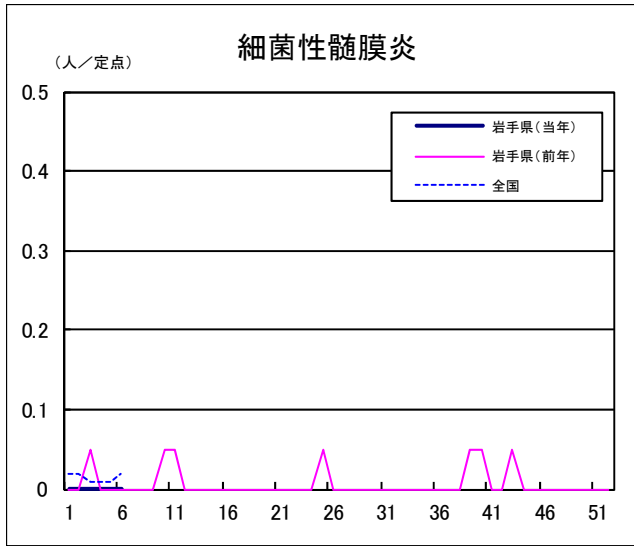
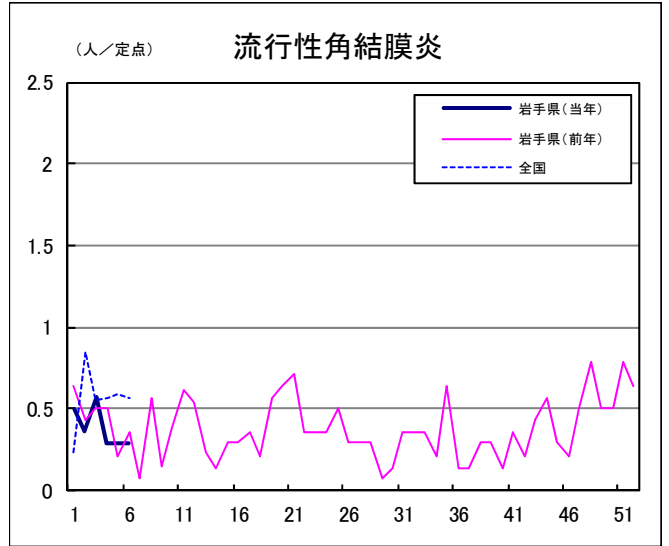
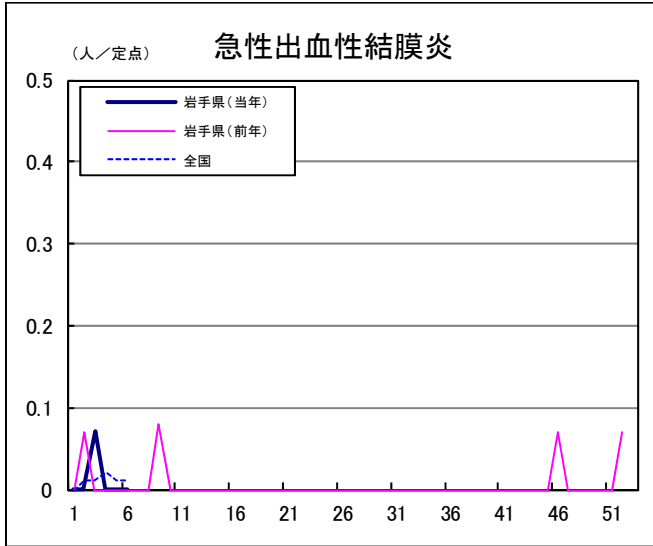
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)









定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成26年第6週 平成26年2月14日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター  
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター  
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療政策室>